

こだわりトマト、親子2代で農水大臣賞に

熊谷市 さかた園芸

地域貢献へ子ども食堂に寄付も



熊谷市でトマトを栽培する坂田正美さんと久美子さん

【埼玉】熊谷市のさかた園芸代表の坂田正美さん(61)と妻の久美子さん(55)は、久美子さんの母と3人で「桃太郎はるか」を約16年栽培。直売所や地元百貨店、スーパーなどで販売するほか、全国発送も行っている。

「桃太郎はるか」は、甘みと酸み、うまみのバランスが整っているのが特徴。トマト本来の味にこだわり、日々工夫を凝らしてきた努力の結果、親子2代で農林水産大臣賞を受賞。埼玉県の特別栽培農産物の認証も受けている。

久美子さんは、県主催の「農業女子キャリアアップ講座」を受講。商品開発へ向けたビジネスプ

ランなどを学んだ。その受講生で結成した女性農業者グループ「GO!GO!彩農ガールズ!」にも所属し活動している。農園には女性客も多いため、女性目線での販売も意識した。他との差別化のため、農園のロゴマークもつくり、「一目でうちの商品だと分かるように工夫した」と久美子さん。野菜に貼るラベルには、野菜ソムリエの資格を活かし、おすすめのおすすめの食べ方や栄養成分の特徴なども載せた。ロゴマークを目印に商品を購入する人も多いという。

また、2年前から地元の子ども食堂へのトマトの寄付も始めた。少しでも地域の力になればとの思いからだ。「農作物の生産に関われることに誇りを持ち、子どもたちに野菜のおいしさを伝えたい」と正美さんは話す。スープやソースなど家庭での食事づくりの手助けになる商品も手がけていきたいと考えている久美子さん。「これからも子ども食堂への寄付を続け、地域貢献につなげていきたい。自分で納得のいくものをつくっていきたい」と想いを話した。